

研究課題名	漢方医学教育における舌診の習得のためのプログラム構築
研究期間	許可日～2029年 3月 31日
研究の対象	2022年8月から2028年3月の間に、広島大学病院漢方診療センターおよび三重大学附属病院漢方医学センターを受診し漢方治療をされた患者さん。
研究の目的・方法	<p>研究目的：漢方薬を処方する際、舌の形態、苔の性状を評価する「舌診」によって体の状態を把握します。しかしながら、その技術習得は難しく、経験を積んだ漢方医の外来に陪席が必要です。漢方医学診察に習熟した医師が不在の施設では、研修医や医学生が身に着けることは難しいものの、ある程度はパターンを学習することが可能です。本研究では、患者の舌画像を収集したデータベースを用いて、経験を積んだ漢方専門医の診断を機械学習させ、基本的な舌診のAI診断を可能とし、最終的には、舌診を習得できるシステムを構築することを目的とします。</p> <p>研究の方法：本研究は、診療で撮影した舌画像、診療録（年齢、性別、バイタルサイン、現症、既往歴、家族歴、現病歴、治療経過）情報を調査して行います。広島大学病院、三重大学附属病院にて収集したデータから氏名や住所などの個人が特定できる情報を削除し、誰の情報か分からないよう加工したデータをSSDに保存し、広島大学に集積して解析します。千葉大学では現在診療に用いている撮像アプリケーションの開発を継続して行います。</p>
研究に用いる試料・情報の種類	情報：年齢、性別、既往歴、家族歴、現病歴、治療経過、舌画像、呼吸数、心拍数、自律神経の高周波と低周波成分）
外部への試料・情報の提供	本研究において広島大学より他機関へ上記情報を提供することはありません。
利用または提供を開始する予定日	本学における実施許可日（2022年10月31日）
個人情報の保護	試料・情報を提供する前に、氏名・生年月日・住所等の特定の個人を識別できる記述を削除し代わりに研究用の番号を付け、どなたのものか分からないよう加工した上で提供します。個人と連結させるための対応表は、各機関の研究責任者が保管・管理します。
研究組織	<p>本学の研究責任者</p> <p>広島大学病院 漢方診療センター 教授 小川 恵子</p> <p>研究機関の長 広島大学理事 田中純子</p> <p>研究代表機関</p> <p>広島大学病院 漢方診療センター 教授 小川 恵子</p>

	<p>共同研究機関・研究責任者 三重大学附属病院 高村光幸（機関の長：池田智明） 千葉大学大学院融合科学研究科 津村徳道</p>
<p>その他</p>	<p>あなたから提供されたデータ等は、将来この研究とは別の研究に利用させていただく可能性があります。これを二次利用といいます。二次利用する際は別途倫理審査委員会で承認後、研究機関の長の許可を得てから使用します。将来の研究に使用した場合は、本学のホームページ（人を対象とする生命科学・医学系研究に関する情報公開） https://med.ethics-system.hiroshima-u.ac.jp/rinri/publish.aspx へその情報を掲載し、拒否の機会を保障します。</p>
<p>研究への利用を辞退する場合の連絡先・お問合せ先</p>	<p>研究に試料・情報が用いられることについて、研究の対象となる方もしくはその代諾者の方にご了承いただけない場合は、研究対象としませんので下記の連絡先までお申し出ください。なお、お申し出による不利益が生じることはありません。ただし、すでにこの研究の結果が論文などで公表されている場合には、提供していただいた情報や試料に基づくデータを結果から取り除くことが出来ない場合があります。なお公表される結果には、特定の個人が識別できる情報は含まれません。</p> <p>また、本研究に関するご質問等あれば下記連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報等の保護や研究の独創性確保に支障がない範囲内で、研究計画書および関連書類を閲覧することができますので、お申し出ください。</p> <p>〒734-8551 広島市南区霞 1-2-3 Tel : 082-257-1921 広島大学病院漢方診療センター 職名 特任助教 河原 章浩</p>